

【町長】

<p>通告順</p>	<p>6</p>	<p>質問 議員</p>	<p>上野議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>全戸にエアコン補助で町民の生活環境向上を</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>町民が毎日生活する住宅環境はとても大切だと思います。</p> <p>昨年より新型コロナウイルス感染予防対策として外出自粛、さらに子供達がギガスクールになり、屋内活動が多くなり室内環境が高温で熱射病等が起きて高齢者は勿論、幼児、子供達には負担が多く、家庭では大変苦労しています。</p> <p>現在、沼田で生活している全戸を対象に除菌機能のついているエアコンを設置できるようにすべきと思う。</p> <p>今後新たな変異株、オミクロン株の感染の拡大が心配されることから、自宅療養も起こりうることを考え、早急にエアコンの設置に取り組むべきと思うが町長の考えを伺いたい。</p>		



撮影許可済み

【町長】

	7	質問 議員	篠原議員
質問 項目	冬期間の災害を想定した地域での防災訓練を		
質問 内容	<p>12月1日から2日にかけての暴風雪の影響により、道内の一部地域で長時間停電する被害が起きた。冬期間における長時間の停電は重大事態を引き起こしかねない。この件に関しては平成30年の第4回定例会において、鶴野議員が大寒波で2日間の大規模停電を想定した一般質問を行った。あれから3年経過し、現在は避難所への自家発電設備の整備も進み、状況は改善しているように思える。しかし、台風や大雨の被害と違い突風による電線の切断で生じる停電は予測しがたく事前の非難が困難であり、とりわけ冬場の夜間に道路が積雪状態で発生した場合はただちに避難するには危険も伴う。このような事態に対して、町が整備している防災計画では想定がされていないように見える。冬季に長時間の停電が発生した場合の対応と防災計画の更新は行うのかを聞きたい。</p> <p>冬季の夜間に停電が発生した場合、朝までは自力で耐えたとしてもその後も状況が改善しない場合はやはり避難所を開設し、暖かい部屋と食べものの提供が必要になるのではないかと考えるがどうか。この間、新型コロナウイルスの影響で避難訓練などが実施できていないが、テント型パーティションなどプライバシー保護に対応した新しい形の避難所設営の準備ができていたから、それらを活用した避難訓練を行うべきではないかと考えるがどうか。</p> <p>その際には地域ごとに防災訓練を進めるのが有効と言える。町が発行する防災のしおりでは自主防災組織の必要性が書かれているが、実態はあまり機能していないように思える。ある程度円滑に機能するようになるまでは町による誘導が必要なのではないか。</p>		

町内全戸へ健康チェック表等を配布した取り組み

ポイント

- ▶ 町内全戸に「健康チェック表」と「避難者ガイド」を配布し、コロナ禍における住民の防災意識を高めています
- ▶ 新型コロナウイルス対策を踏まえ、避難所受付や避難所内パーティションの設置などについて整備した「避難所運営マニュアル（案）」の検証に重点を置いた訓練を実施しています

訓練日時：令和2年7月16日（木）13:00～
実施場所：大槌町中央公民館、城山公園体育館
参加者：大槌町職員19名
訓練概要：避難所受付、避難所内間仕切り（ファミールーム）設置
 （大槌町避難所運営マニュアル（案）の検証）



間仕切り等設置

避難者ガイド



避難所運営職員研修会



台風19号大槌川（大ケル）

災害時における避難について

町民のみなさまへ

令和2年7月の梅雨前線の影響により九州地方をはじめ甚大な被害を受ける中、7月28日から29日朝にかけて山形県を流れる最上川では、5カ所で氾濫が発生して甚大な被害を受けました。ここ大槌町も例外ではありません。昨年の台風19号では、大槌川が決壊寸前まで追い込まれました。

これから台風シーズンがやってきますが、町としては、**新型コロナウイルス対策を踏まえた避難所運営**について検討し、先月職員による研修会を行いました。そこで出た意見を参考に新たな避難所運営マニュアルを整備したところですが、新しい避難所運営マニュアルでは、**町民の皆様のご理解とご協力が必要**となります。そのため、このパンフレットには、町民のみなさまに行ってくださいということも記載してありますのでご確認くださいませようお願いします。

避難者ガイド作成：大槌町危機管理室

大槌町避難者ガイド

特徴

- ✓ 大槌町避難所運営マニュアル（案）の検証に重点を置いた訓練
- ✓ 健康チェック表と避難者ガイドを全戸配布

教訓と課題

- ✓ 避難者ガイドを全戸に配布したことによって、住民の防災意識を高めることができた
- ✓ 避難所開設・運営訓練に関わる職員には訓練（研修）が必要

今後の展開

- ✓ 人事異動等に配慮し、新年度早々に職員を対象とした避難所開設・運営研修を実施予定
- ✓ 今後の訓練や実践での課題を踏まえ、適宜マニュアルの改善を図っていく

自主防災組織と共同による福祉避難所開設・運営訓練

ポイント

- 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した福祉避難所の開設・運営訓練を行っています
- 受付で検温を行い、平熱者と発熱者の割振を行っています
- 施設管理者（福祉施設職員）、自主防災組織、市職員等が共同で訓練に取り組むことで、コロナ禍での手順・課題等を具体的に洗い出しています

訓練日時：令和2年11月22日（日）13:30～15:15
実施場所：老人福祉センター鶴寿園
参加者：自主防災組織、鶴寿園職員、災害支援ナース
 市職員：計31名
訓練概要：福祉避難所の開設訓練
 要配慮者避難スペース配置訓練
 避難場所から避難所まで車いすを使用した移動訓練
 福祉避難所の運営訓練
 防災士による講義、DVD視聴等



避難所移動訓練



防災士による講義



避難者割振



災害支援ナースの巡回



避難者のトリアージ

特徴

- ✓ 高齢者や障害のある方等の配慮が必要な方を受け入れる福祉避難所の訓練
- ✓ 避難場所から避難所まで、車いすなどを使った移動訓練
- ✓ 避難者のトリアージ（重症度に基づいて選定）訓練
- ✓ 災害支援ナースの巡回による健康状態の確認

教訓と課題

- ✓ 避難場所から避難所への誘導については、体制やルートなどを地元の自主防災組織と事前に調整しておくことが重要
- ✓ 受付で健康チェックリストを記入することにより混雑
- ✓ 受付の流れや動線の精査

今後の展開

- ✓ 福祉施設やその他民間協定施設での訓練実施

自主防災組織や中学生が主体の訓練

ポイント

- 自主防災組織や地区住民、中学生が主体となり、問診票や体温測定を行う事前受付、専用スペース設置、簡易テントによるパーティションの設置訓練を行っています
- 東日本大震災の経験を踏まえ、自主防災組織等が主導して避難所運営をできるよう、訓練や研修等が繰り返されています

訓練日時：令和2年11月15日（日）

実施場所：気仙沼市立面瀬中学校

参加者：面瀬中学校生徒約80名，地区住民20名

訓練概要：事前受付（問診票、体温計測）、専用スペース設置、簡易テントによるパーティション設置



パーティション等設置



体温測定、問診の様子



受付・滞在場所指定訓練の様子



受付・物資提供訓練の様子

特徴

- ✓ 体温測定、問診からの判断、テント設営などを住民や中学生が実施

教訓と課題

- ✓ 問診票で1項目でも該当すれば専用スペースへの避難とすることの疑義
- ✓ 自主防災組織や地区住民が開設した避難所で感染者が発生した場合の責任所在について
- ✓ 専用スペース内に複数の避難者がいる場合、様々な症状の方を同様に扱うことの判断の難しさ
- ✓ 長期避難時には医師や専門機関の診察が行われると想定されるが、台風のような一晩だけの短期避難の対応に諸々の課題

今後の展開

- ✓ 避難所での効率的な受付方法の検討及び次回訓練への反映
- ✓ より多くの住民に対する訓練の実施